



フラッグフットボール 2023 アジア・オセアニア大陸選手権 報告書

(2023年10月27日～29日、マレーシア・クアラルンプール近郊)



公益社団法人日本アメリカンフットボール協会

フラッグフットボール 2023 アジア・オセアニア大陸選手権（報告）

国際アメリカンフットボール連盟（IFAF）が主催するフラッグフットボールのアジア・オセアニア大陸選手権が、2023年10月27日から3日間、マレーシア・クアラルンプール近郊で開催された。大会には男子11か国、女子9か国が参加。日本の女子はグループAを1位で通過し、準決勝でニュージーランド、決勝でオーストラリアを破り、見事に初代女王に輝いた。磐田千紘が大会 MVP に、佐藤由樹がオフェンス MVP に、山本深由奈がディフェンス MVP にそれぞれ選ばれた。男子は準決勝でニュージーランドに惜敗したが、3位決定戦でオーストラリアを破って3位を確保した。

■大会概要、日本代表概要

1.大会名称：2023 IFAF Asia Oceania Flag Football Championships

主催：国際アメリカンフットボール連盟（IFAF）

派遣主体：公益社団法人日本アメリカンフットボール協会

派遣日程：2023年10月24日（火）～10月30日（月）

開催日程：10月27日（金）～10月29日（日）

開催地：マレーシア・クアラルンプール近郊

参加国：【男子】マレーシア、インドネシア、タイ、フィリピン、オーストラリア、ニュージーランド、日本、韓国、インド、シンガポール、クウェート【女子】マレーシア、インドネシア、タイ、フィリピン、オーストラリア、ニュージーランド、日本、韓国、インド

2.日本代表遠征日程

(1) 日程（10月24日発～同30日帰国）

24日：羽田発/関空発 シンガポール航空 シンガポール空港経由で25日朝クアラルンプール着

25日：練習/コンディショニング

26日：練習

27日：予選

28日：予選順位に伴うトーナメント

29日：順位決定戦、決勝戦

30日：朝クアラルンプール発 シンガポール航空 シンガポール空港経由で同日夜に羽田/関空着

(2) 遠征場所

マレーシア・クアラルンプール

会場：EV Arena, Shah Alam

宿泊先：Mardhiyyah Hotel

3. ライブストリーミング情報

◆ ifaf.tv でのトーナメント・ライブストリーム

【第1日（10月27日）】

国際アメリカンフットボール連盟（IFAF）が主催するフラッグフットボールのアジア・オセアニア大陸選手権が27日、マレーシアのクアラルンプールで開幕しました。

男子のグループAに入った日本は、シンガポールを35-0、インドを45-13でそれぞれ破り、連勝で初日を終わりました。大会二日目の28日は、グループリーグの残り3試合を戦います。グループ1位が29日の準決勝に進出し、2、3位は準々決勝に進みます。

女子の日本はグループAでタイを60-19で、インドネシアを61-6で、韓国を39-0でそれぞれ破って3連勝。QB 磐田千紘のパスが好調です。28日はグループリーグの最終戦でオーストラリアと対戦。グループ1位が29日の準決勝に進出し、2、3位は28日に準々決勝を戦うことになります。

■ 試合結果

▽男子グループA

日本 35-0 シンガポール、日本（2勝） 45-13 インド

▽女子グループA

日本 60-19 タイ、日本 61-6 インドネシア、日本（3勝） 39-0 韓国



【開会式】



【女子・日本ーインドネシア】

【第2日（10月28日）】

国際アメリカンフットボール連盟（IFAF）が主催するフラッグフットボールのアジア・オセアニア大陸選手権第2日は28日、マレーシアのクアラルンプールで行われ、日本代表は男女ともにグループAの1位となり、29日の準決勝に進出しました。

女子の日本はオーストラリアを33-0で破って4戦全勝。男子の日本はフィリピンを37-6、クウェートを46-13で破り、オーストラリアとのグループ1位を懸けた一戦を20-12で制しました。

最終日の29日は、日本は男女ともに準決勝と決勝（または3位決定戦）を戦います。

■試合結果

▽男子グループA

日本 37-6 フィリピン、日本 46-13 クウェート、日本 20-12 オーストラリア

▽同順位 ①日本 5勝②オーストラリア 4勝 1敗③クウェート 3勝 2敗④インド 1勝 4敗⑤フィリピン 1勝 4敗⑥シンガポール 1勝 4敗（4～6位は当該チーム間の得失点差による）

男子A	JPN	AUS	KUW	IND	PHI	SGP	勝敗	順位
日本	*	20○12	46○13	45○13	37○6	35○0	5-0	1
オーストラリア	12●20	*	50○7	47○12	33○13	38○6	4-1	2
クウェート	13●46	7●50	*	42○24	43○6	33○18	3-2	3
インド	13●45	12●47	24●42	*	19●21	32○26	1-4	4
フィリピン	6●37	13●33	6●43	21○19	*	13●14	1-4	5
シンガポール	0●35	6●38	18●33	26●32	14○13	*	1-4	6

※4～6位は当該チーム間の得失点差による

男子B	THA	NZL	MAS	INA	KOR	勝敗	順位
タイ	*	26○19	49○34	26●34	40○20	3-1	1
ニュージーランド	19●26	*	27○20	32○26	34○13	3-1	2
マレーシア	34●49	20●27	*	33○20	33○21	2-2	3
インドネシア	34○26	26●32	20●33	*	33○13	2-2	4
韓国	20●40	13●34	21●33	13●33	*	0-4	5

※1、2位と3、4位は直接対決の結果による

▽女子グループA

日本 33-0 オーストラリア

▽同順位 ①日本 4勝②オーストラリア 3勝 1敗③タイ 2勝 2敗④インドネシア 1勝 3敗⑤韓国 4敗

女子A	JPN	AUS	THA	INA	KOR	勝敗	順位
日本	*	33〇0	60〇19	61〇6	39〇0	4-0	1
オーストラリア	0●33	*	34〇19	39〇27	53〇6	3-1	2
タイ	19●60	19●34	*	27〇22	39〇0	2-2	3
インドネシア	6●61	27●39	22●27	*	41〇6	1-3	4
韓国	0●39	6●53	0●39	6●41	*	0-4	5

女子B	MAS	NZL	PHI	IND	勝敗	順位
マレーシア	*	13〇7	41〇0	41〇18	3-0	1
ニュージーランド	7●13	*	32〇0	52〇6	2-1	2
フィリピン	0●41	0●32	*	25〇12	1-2	3
インド	18●41	6●52	12●25	*	0-3	4



【男子・日本－フィリピン】



【女子・日本－豪州】

【最終日（10月29日）】

国際アメリカンフットボール連盟（IFAF）が主催するフラッグフットボールの第1回アジア・オセアニア大陸選手権最終日は29日、マレーシアのクアラルンプールで行われ、女子の日本が準決勝でニュージーランドを42-14で、決勝でオーストラリアを47-29で破り、初代女王に輝きました。

男子の日本は準決勝でニュージーランドに33-40で惜敗。3位決定戦ではオーストラリアを38-7で破り、3位となりました。

■ 試合結果

【男子】

▽ 準決勝

日本 33-40 ニュージーランド

▽ 3位決定戦

日本 38-7 オーストラリア

▽ 最終順位 ①タイ②ニュージーランド③日本④オーストラリア⑤マレーシア⑥クウェート⑦インドネシア⑧韓国⑨フィリピン⑩シンガポール⑪インド

【女子】

▽ 準決勝

日本 42-14 ニュージーランド

▽ 決勝

日本 47-29 オーストラリア

（日本は初優勝）

▽ 最終順位 ①日本②オーストラリア③ニュージーランド④マレーシア⑤タイ⑥フィリピン⑦インドネシア⑧インド⑨韓国



【男子日本代表はオーストラリアを破り 3 位を確保】



【初代女王に輝いた女子日本代表】



【表彰式・個人賞の3人は左からオフェンス MVP の佐藤由樹、ディフェンス MVP の山本深由奈、大会 MVP の磐田千紘】

■第1回アジア・オセアニア大陸選手権・男女日本代表メンバー

◇男子日本代表（左から番号、ポジション、氏名、ふりがな、所属、年齢=23年10月26日時点）

1	WR/C	中垣 佑太（なかがき・ゆうた）	京都ジュベナイルズ	31
3	RB	伊藤 耕世（いとう・こうせい）	京都ジュベナイルズ	29
4	LB	池辺 悟（いけべ・さとる）	FFFC 川崎フロンティアーズ	24
5	WR	松尾 良知（まつお・りょうすけ）	FFFC 川崎フロンティアーズ	26
7	DB	磯野 元浩（いその・もとひろ）	京都ジュベナイルズ	37
8	WR	長井 佑都（ながい・ゆうと）	FFFC 川崎フロンティアーズ	22
10	DB	吉原 凜（よしはら・りん）	リバーサイドガンブラーズ市川	21
14	QB	森 凜太郎（もり・りんたろう）	京都ジュベナイルズ	23
17	WR	中山 勲（なかやま・いさお）	リバーサイドガンブラーズ市川	32
21	DB	加藤 豪（かとう・ごう）	FFFC 川崎フロンティアーズ	30
22	DB	大隅 俊輝（おおすみ・としき）	北大阪 Huskies	24
40	DB	栗谷 健礼（あわたに・たけのり）	京都ジュベナイルズ	40

◇同コーチングスタッフ（左から役職、氏名、ふりがな、所属、年齢=23年10月26日時点）

HC		岩井 歩（いわい・あゆむ）	日本協会	49
DC		平尾 利行（ひらお・りこう）	リバーサイドガンブラーズ市川	44
OC		西岡 幸哉（にしおか・よしや）	中野バグース	37
DC		植松 遼平（うえまつ・りょうへい）	千里山ブラックジャガーズ	27
AC		淵辺 和寛（ふちべ・かずひろ）	京都ジュベナイルズ	48
AC		高山 裕（たかやま・ゆたか）	リバーサイドガンブラーズ市川	59

◇女子日本代表（左から番号、ポジション、氏名、ふりがな、所属、年齢=23年10月26日時点）

1	C	佐藤 由樹（さとう・ゆき）	アイリス/RIOTZ	33
2	LB	佐藤 初日（さとう・ういか）	Blue Roses	18
7	WR	近江 佑璃夏（おうみ・ゆりか）	Blue Roses	24
9	WR	中畑 友里（なかはた・ゆり）	千里山ブラックジャガーズ	21
10	QB	磐田 千紘（いわた・ちひろ）	HYPERION 東京	19
11	S	山本 深由奈（やまもと・みゆな）	千里山ブラックジャガーズ	24
13	LB	梶屋 弥佑（かじや・みゆ）	アイリス	27
14	LB	北崎 あかり（きたざき・あかり）	HYPERION 東京	19
18	WR	三宅 萌（みやけ・もえ）	虹翔∞/アイリス	31
21	CB	樋口 智子（ひぐち・ともこ）	Fighting Monkeys/千里山ブラックジャガーズ	30
22	WR	八木 智代（やぎ・ともよ）	ワセダクラブ/Blue Roses	18
40	LB	齊藤 蓮佳（さいとう・れんか）	HYPERION 東京	20

◇同コーチングスタッフ（左から役職、氏名、ふりがな、所属、年齢＝23年10月26日時点）

HC	桑原 昂司（くわはら・こうじ）	リバーサイドガンブラーズ市川	38
OC	福田 倫大（ふくだ・ともひろ）	京都ジュベルナイズ	34
DC	三井 健史郎（みつい・けんしろう）	FFFC 川崎フロンティアーズ	33
AC	松村 諭（まつむら・さとし）	Fighting Monkeys	35
AC	色摩 毅彦（しかま・たけひこ）	リバーサイドガンブラーズ市川	51
AC	津金 智子（つがね・ともこ）	FFFC 川崎マロンティアーズ	45

◇日本代表スタッフ

内藤 忠男	ゼネラルマネジャー
尾野 伊織	トレーナー
淵辺 和寛	記録・スタッフ

◇日本選手団関係者

寺田 昌弘	日本アメリカンフットボール協会会長
土橋 雅之	日本アメリカンフットボール協会常務理事
輿 亮	国際アメリカンフットボール連盟理事
平澤 幸一郎	審判
根岸 作力	審判
中村 群司	審判
松井 登	審判

以上